

組合員皆様の保養所 *Sakura Resort Hotel Ishigaki*
 さくらリゾートホテル石垣



社内研修や記念旅行、
 永年勤続・優績者への表彰制度に…
 日本最南端の楽園「石垣島」で
 くつろぎの時間をお過ごしください。

ゴールデンウィーク期間の組合員様ご利用室料を
 下記の通りとさせていただきます。

令和5年4月28日(金)～令和5年5月7日(日) 10日間

| 区分 | 料金 | ゴールデンウィーク期間中 |
|-----------|---------|--------------|
| Aタイプ(2人) | 9,600円 | 14,400円 |
| Bタイプ(2人) | 14,400円 | 21,600円 |
| ロフトなど(1人) | 2,500円 | 4,000円 |
| Aタイプ(1人) | 7,800円 | 11,700円 |
| Bタイプ(1人) | 12,600円 | 18,900円 |

土曜・日曜・祝日の前日の割増料金は1,000円となっております。

＼ご来館いただく皆様へ／

新型コロナウイルス
 感染症拡大防止対策

お客さまが安心してご利用いただけるよう
 以下のとおり徹底しております。

- 各フロア、客室への消毒液の設置
- 1時間おきに
共有スペースの消毒及び換気
- 来館時及び帰館時に検温の実施
- お食事の際の時間制限及び人数制限
- お食事の個別対応
- お客様のチェックアウトから3日後の
健康確認のご連絡

アソシエーションニュース
Association
NEWS

道央情報サービス協同組合

組合だより

2023
1月号
 季刊



CONTENTS

- 新年のご挨拶
- 総代会開催結果のご報告
- 組合員ペンリレー
- ホテル提携のご案内
- 高速道路料金所のETC専用化について
- 名車ファイル vol.23

Association NEWS

組合だより

令和5年1月18日発行

[発行者]

道央情報サービス協同組合

北海道
 本部

札幌市中央区南3条東4丁目3-6 さくら総合会計第2ビル
 TEL:011-242-4006 FAX:011-242-4388

東京本部

東京都港区浜松町1丁目24-8 オリックス浜松町ビル6階
 TEL:03-3437-1237 FAX:03-6809-1163

DOUOUJOUHOU Service Cooperative

新年のご挨拶 *New Year Greeting*

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 昨年も相変わらず新型コロナウイルスに振り回された一年でありましたが、
 仕事は待つはくれませんので、不安な気持ちを持ったまま
 経済活動を行う日々を過ごされたと推察致します。

組合員各社がETCカードで高速道路を利用して仕事をされている訳ですが、
 燃料価格の高騰だけではなく、その影響から物価の上昇が起きている状況があって、
 業界を取り巻く経営環境が厳しくなっている中で、内閣府の税制調査会において
 「走行距離課税」の話が出たと話題になり、組合員各社に直接影響が出る税金であり、
 今後の動向に注意して行きたいと思えます。

昨年は当組合の福利厚生事業の充実として、宿泊補助券と飲食店利用補助券の提供は好評をいただきました。
 更に、昨年12月に組合員各社へお知らせした手数料の改定で毎月の会費の引き下げと
 UC・ETCカードのカード枚数割手数料を無料と致しました。

組合員各社の負担を軽減して、厳しい経営環境の中で少しでも収益のプラスになり、
 当組合を末永くご利用頂ければ幸いです。

2023年は「癸(みずのと十干)卯(う十二支)」の年になります。

「癸」「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられます。

株式相場には、卯は跳ねるという格言があります。

兔には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、
 株式市場にとっては縁起の良い年として知られています。

景気回復により組合員各社にとって本年が輝かしい年となりますことを心からお祈り申し上げまして、
 年頭のご挨拶とさせていただきます。



道央情報サービス協同組合
理事長

風間 隆之

第31期通常総代会が開催されました

当組合の第31期通常総代会が開催され、すべての議案が満場一致で可決承認されました。

開催日時 令和4年11月29日(火) 午後5時

開催場所 京王プラザホテル札幌 3階扇の間
(札幌市中央区北5条西7丁目2番地1)

第1号議案 第31期事業年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、
 損益計算書並びに剰余金処分案について
 監事の監査報告

第2号議案 第32期事業年度事業計画案、収支予算案について

第3号議案 賦課金の額と徴収方法について

代表 理事会長 木戸 善幸
 代表 理事 風間 隆之
 理事 鶴嶋 浩二
 理事 吉田 栄治
 理事 庵原 史章
 理事 深貝 亨
 理事 松浦 良一
 理事 小野 徹
 監事 浅野 剛
 監事 清平 秀幸

組合員
ペンリレー

株式会社ガレージライン

弊社は、2014年6月に、車好きの創業者がディーラー勤務時代に秘
 めた葛藤を少しでも解消すべく、車の販売から買取、自動車整備まで、
 自動車を保有するすべての方が車に関わる事で、何か相談する事が起
 きた時に、ガレージラインへ依頼すれば解決するというお手伝いが出来
 ればとの思いでスタートしました。

GARAGE→工場 RINE→道で、工場を中心に繋がるの思いが込
 められてます。その思いが広がり、お陰様で、2018年には運輸局の認証工
 場を取得。2020年には、新千歳空港にレンタカー店舗をオープンし、現在
 に至ります。

2022年11月現在は、エンジニア、美装スタッフ4名販売、買取営業5名、
 事務職3名、千歳レンタカーは23名の職員で日々業務を行っております。

事業内容

●販売は、新車、中古車全般に取り扱い ●整備は、国産、輸入車の車検整備、カスタム
 対応まで ●買取は、道央エリアから道北エリアまで出張査定 ●レンタカーは、新千歳
 空港と札幌店舗での対応 また、新千歳空港から道外へ行かれる方の車の預かり対応



ガレージライン本社 *check! /*

〒001-0915 札幌市北区新琴似町1007-52

整備 (011)-594-8913 **GarageRine**

販売・買取 (0120)-190-380

ちょいのりレンタカー 新千歳空港店 *check! /*

〒066-0012

千歳市美々1292-922

TEL (0123)-25-6381

写真提供:株式会社ガレージライン

(川村和則)

Let's
PR!

ペンリレー掲載募集

組合員のみなさま
 わが社の自慢・自社PRなど掲載してみませんか?

ご希望の組合員さまは、下記までご連絡をお待ちしております
 TEL.011-242-4006 (担当:玉木)



宿泊補助券・日帰り入浴無料券のお知らせ



第一滝本館

TAKIMOTOKAN
HOKKAIDO

お好きなきに

35の湯船で24時間

贅沢な5つの泉質を

地獄谷と対峙するロケーション



当組合では、福利厚生事業のより一層の充実を目指し、全国でも有数の温泉地である登別の老舗ホテル「第一滝本館」様のご案内をさせていただくこととなりました。是非ともこの機会に登別の名湯と登別の地獄谷観光をお楽しみください。

第一滝本館



第一滝本館のはじまりは妻を思うやさしさでした。1858年登別温泉に湧く霊泉の噂を耳にした開祖滝本金蔵がこの地にたどり着き、妻佐多の皮膚病を癒すための小屋を作ったことから始まりました。その思いは今も滝本の心として受け継がれています。

大浴場



絶景を望む大浴場。1,500坪の広々としたフロアには、大小あわせて35の浴槽があり、1日約200万リットルの湯量を贅沢に使用しています。源泉は地獄谷からの引湯と敷地内に自噴する7種類。当館でしか味わえない効能豊かで多彩な泉質を24時間いつでもお楽しみいただけます。湯けむりのむこうに四季の景色を眺めながら「温泉天国」をご堪能ください。

客室



地獄谷の絶景が望める客室展望風呂付の特別室や、ワンちゃんと一緒に宿泊頂けるお部屋、2018～2020年にかけてリニューアルした洋室など多様な客室タイプがございます。

お食事



お部屋食からビュッフェ形式まで、お好みのスタイルでお楽しみいただけます。お部屋食では季節の味覚をふんだんに盛り込み料理人が丁寧に仕上げた本格会席膳をご用意。また、ご家族揃って楽しめるビュッフェメニューや、落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと旬の味覚が楽しめるお食事処などご要望に合わせたスタイルでお食事をご用意いたします。

組合補助内容

大人一名様につき
宿泊代金から**1万円補助**

1万円に満たない料金の場合は、**全額補助**いたします。

※未就学児は、5千円の補助 ※日帰り入浴は、全額補助

※ご宿泊のご予約は、ホテルへ直接お電話いただくか、ホテル公式サイトからご予約下さい。

※他の方法や事前クレジットカード決済プランでご予約いただいた場合は補助券をご利用いただけませんのでご注意ください。

ご注意事項

・補助券は、一法人様につき他社提携施設と合わせて宿泊券は10枚、日帰り入浴券は30枚までとさせていただきます。・ご予約は、公式ホームページもしくはお電話でお願いいたします。旅行代理店(含むインターネット)からの申し込みは対象外となります。・ご宿泊には入湯税がかかります。・GOTOトラベル等の各種キャンペーンとの併用は原則可能です。詳しくは、「第一滝本館」様にお尋ねください。・ご利用可能期間:2023年1月1日～2023年3月31日ご利用分まで



第一滝本館
TAKIMOTOKAN
HOKKAIDO

〒059-0551 北海道登別市登別温泉町55番地
☎ 0120-940-489 [10:00-17:30]



(エス・バイ・エス事業協同組合 岩田一典)

高速道路料金所の ETC 専用化 について

高速道路料金所の ETC 専用化について、渋滞の解消や将来的な管理コストの削減、感染症感染拡大下における接触リスクの軽減等を目的に、令和2年12月、国土交通省より料金所の ETC 専用化に向けたロードマップが示されました。令和4年12月現在、NEXCO 東日本2カ所、NEXCO 中日本3カ所、首都高速35カ所及び阪神高速5カ所の料金所において、ETC 専用化されております。

各道路会社で導入状況に違いが見られますが、NEXCO 西日本では2023年春から11カ所の料金所で ETC 専用化されることが発表されるなど、ロードマップに沿った ETC 専用化が進んでいます。



ETC 専用化のロードマップ

| | 料金所数 | 2020年度 (R2年度) | 2021年度 (R3年度) | 2022年度 (R4年度) | 2023年度 (R5年度) | 2024年度 (R6年度) | 2025年度 (R7年度) | 2026年度 (R8年度) | ... | 2030年度頃 (R12年度頃) |
|-------------|------|---------------|---------------|-------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|------------------|
| NEXCO (首都圏) | 147 | 導入準備 | | 首都圏(圏央道及びその内側) 順次拡大(7~8割程度) | | | | 順次拡大 ▶ 全線 | | |
| NEXCO (中京圏) | 71 | 導入準備 | | 中京圏(東海環状及びその内側) 順次拡大(8割程度) | | | | 順次拡大 ▶ 全線 | | |
| NEXCO (近畿圏) | 94 | 導入準備 | | 近畿圏(京阪神地区及び京奈和道の内側) 順次拡大(7~8割程度) | | | | 順次拡大 ▶ 全線 | | |
| NEXCO 3社・本四 | 883 | 導入準備 | | 数箇所導入 ▶ 運用状況や各地域の特性等を考慮しつつ順次拡大 | | | | 全線 | | |
| 首都高 | 181 | 導入準備 | | 30箇所程度で順次導入 | 順次拡大(9割) | | | 順次拡大 ▶ 全線 | | |
| 阪神高 | 144 | 導入準備 | | 5箇所程度で導入 | 順次拡大(8割程度) | | | 順次拡大 ▶ 全線 | | |

ETC 専用化の主な課題と対応方針

- 1 クレジットカードを作れない方への対応 → クレジットカード不要の「ETC パーソナルカード」の利便性向上
- 2 ETC 車載器非搭載の方 (高速道路利用・運転頻度が低い方等) への対応 → ETC 車載器の購入費助成による負担軽減
- 3 非 ETC 車の誤進入等への対応 → ・当面の間、料金精算機との併用を検討
・車両ナンバー情報をもとに事後徴収する対応を今後検討

将来的な検討事項

以下について、ETC 専用化等の進展を踏まえ、引き続き検討

- ETC 車と非 ETC 車の料金徴収コスト差を踏まえた非 ETC 車の割増負担。
- 管理コストの低減状況を踏まえた利用者への還元策。
- 将来的な本線料金所の撤去。

非 ETC 車については、道路によっては現在も上限料金を徴収される他、左記割増負担が検討されるなど将来的にもコスト増が予想されます。ETC 専用化の進捗状況も踏まえ、利用頻度の低い非 ETC 車についても ETC 車載器搭載の検討が必要となってくるでしょう。



※令和2年12月17日開催第46回国土幹線道路部会配布資料より一部抜粋

初代 スバル・サンバー

【1961年~1966年】

抜群のバランスと低重心、
圧倒的な登坂能力を誇る農道のポルシェ

一台の軽自動車がかぶるようなサスペンションで、濺々と白煙を吐きながら急な悪路の雪道をもとせずスノータイヤなしで疾走する姿が昭和30年代にあった。

倒産の危機からスバル360の爆発的ヒットで復活した富士重工(現在のSUBARU)は本格的な軽4輪商用車の開発を行う。当時のスズキが「スズライト」で行った以上に、商用車専用を意識したものであった。開発者は「スバル360」の開発者であった百瀬 晋六であり、「エンドレス百瀬」の異名を持ち、妥協を知らない男であった。当時乗用車から発展する商用車が多い中、シャーシはラダーフレームを採用し、当時はなかったキャブオーバースタイルで、エンジンは「スバル360」譲りの混合オイル仕様の2サイクル空冷直列2気筒EK31型で16馬力から18馬力に強化されていた。サスペンションは「スバル360」と同様のトーショナバーを使用した四輪独立懸架と、当時の国産車の多くがリーフ・リジッド方式を採用する中異色であった。軽トラックのRR方式は東急くろがねの「くろがねベビー」が採用していたが、4サイクルの縦置き方式であることからエンジンにスペースを取られていた。サンバーのエンジンは横置きで重心が低くレイアウトされていることもあり、狭いと認識されなかった。むしろ、横の「あおり」からの積み下ろしは、荷台が低く好評であり、エンジン部分と同じ高さに蓋をしてフラットな荷台として使用するユーザーも多かった。トラックはお尻が軽く冬道では駆動に苦労することが多いが、サンバーはRR方式であることから駆動力において有利であった。当時の日本では商用車のスノータイヤは始めてチェーンを巻くのが一般的であったが、チェーンがなくても多少の雪道であれば走る事が出来た。



写真はスバル・サンバー低床車

又、サスペンションは商用車用に強化されたとはいえ、「スバル・サスペンション」は健在でガラスや豆腐など壊れやすいものであっても安心して運べると評判であった。設計思想の中で、「スバル360」と同様にバランスの取れた車を目指すことがかけられ、車両重量は395kgと他社の軽四輪トラックより実に100kg以上軽く作られていた。その後スバルの乗用車がFFに変わり、排ガス対策でエンジンが4サイクル4気筒に変わっても、「サンバー」はRRレイアウトを守り抜き、農道のポルシェと言われていた。

2009年SUBARUは軽自動車から撤退し、ダイハツ工業からのOEMを受けることとなる。農道のポルシェと言われた「サンバー」も2012年に惜しまれつつ自社開発を終了し、ダイハツ工業からのOEMを受けることになってしまった。完全に「サンバー」の遺伝子は消滅してしまっただけに思えたが、赤帽車はその激しい使用方法から、「サンバー」だけがエンジン及びシャーシを強化した赤帽専用車を製造していたことから、「ダイハツ・ハイゼット赤帽専用車」にその精神は引き継がれている。

(エス・バイ・エス事業協同組合 岩田一典)